

水稻カリ施用試験結果速報と今後のカリ施用

- 1 今年度水稻のカリ施用ポット試験結果について
- 2 今後のカリ施用について

福島県農林水産部

1 今年度水稻のカリ施用ポット試験結果について

<水稻カリ施用ポット試験の概要（速報） 福島県農業総合センター>

- 栽培環境 1/5000 a ワグネルポット。ガラス温室。
- 供試土壌 カリ不足土壌（交換性カリ含量3.3mg/100g乾土）
- 水稻品種 コチミノリ（奨励品種ではありません。試験用に採用したもの）
- 栽培期間 3/23播種→4/16移植→5/7減数分裂期→5/16出穂始め→5/25穂揃期→6/25成熟期（採取）→（分析）
- 水 抜 き 地下浸透によるカリウム等の流亡を模擬するため、5日に1回程度ポット下部から水を抜く。栽培期間中の排水量は日当り平均100ml/ポット（日減水深0.5 cm）であった。
- 施 肥 ポット当り窒素を0.1g、リン酸を0.2g（10a当りそれぞれ5kg、10kg）基肥として施用した。カリは表1のとおりとした。追肥としてポット当り0.1gの窒素を適宜施用した。各カリウム施用処理3ポットを反復。
- 調 査 成熟期の玄米について玄米重、Cs137（セシウム137）濃度を測定。

表－1 カリの施用量と玄米中の放射性セシウムCs137の検出結果（速報）

区 番号	処理内容	カリウム 資材	カリ施用分量 (kg/10 a 換算)				玄米重 g/ポット (速報)	玄米中 Cs137濃度 相対値% (速報)
			基肥	減数 分裂 期 5/7	穂揃 期 5/25	合計		
1	無カリ区	無 し	－	－	－	0	14.3	100
2	基肥のみ	塩化カリ	5	－	－	5	16.1	61
3	〃	〃	10	－	－	10	15.7	37
4	〃	〃	20	－	－	20	17.1	15
5	〃	〃	30	－	－	30	17.2	5
6	基肥＋追肥	〃	10	10	－	20	16.0	21
7	〃	〃	10	－	10	20	16.0	28
8	〃	〃	10	5	5	20	16.5	21
9	基肥のみ	ケイ酸カリ	10	－	－	10	14.8	74
10	〃	〃	20	－	－	20	15.2	55
11	基肥＋追肥	〃	10	10	－	20	14.6	59

<結果の概要（速報）>

1. カリ資材の種類や施用量および施用時期が玄米重に及ぼした影響は小さかった。
2. 区番号1～5を見るとカリ施用量の増加に伴い玄米のCs137濃度が低下した。
3. 塩化カリ追肥の時期が減数分裂期（出穂前10～12日）及び穂揃期（出穂状態の穂が8割を超える時期、通常出穂期後7日以内）であっても玄米Cs137濃度が低下する傾向が見られた。
4. 区番号4及び6～8を見ると塩化カリの施用の時期が早いほど玄米Cs137濃度が低い傾向となった。
5. ケイ酸カリ施用においても塩化カリと同様の傾向が認められたが、玄米Cs137濃度の低下は塩化カリよりもケイ酸カリの方が少なかった。従って、供試土壤のようにカリ含量が低い土壤における放射性セシウムの吸収抑制対策上は塩化カリの施用が効果的であると考えられた。

2 今後のカリ施用について

今回の試験結果はあくまでも土壤中のカリ含量（交換性カリ）が3.3mg/100gと県内平均（およそ21mg/100g、「ふくしまからはじめよう。」農業技術情報24号参照）より極めて少ない場合でのポット試験結果でありますので、現地で応用する場合にはカリ含量の実態を踏まえる必要があることに留意してください。その上で、これまでの情報（「ふくしまからはじめよう。」農業技術情報30号）を踏まえ、今後のカリ施用に当たっては、以下の点に留意してください。

- (1) 今年における今後のカリ施肥は塩化カリとし、できるだけ早く全量を追肥する。施用時期が早いほど効果は高いが、但し遅れた場合でも試験結果からは効果があることに留意する。
- (2) 吸収抑制対策としてケイ酸カリを実施しているほ場で土壤中のカリ含量が不足と思われる場合は、直ちに塩化カリを施用する。特に昨年度玄米が100Bq/kgを超えた地域では、塩化カリ16～33kg/10aを目安に、できるだけ早く施用する。

問い合わせ先：農林水産業に関する相談窓口（電話：024-521-7319）
ホームページ：農林水産部農業振興課ホームページ（PDF形式ファイル）
URL：http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=10786

（他の農業技術情報等をご覧ください）

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報
（右欄に掲載のQRコードよりご覧ください）

ふくしま新発売：以下のホームページより最新の農林水産物モニタリング
情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>



モバイル版 QRコード